



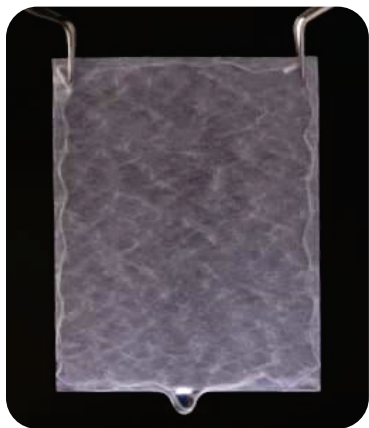
日本の再生医療の発展をめざして

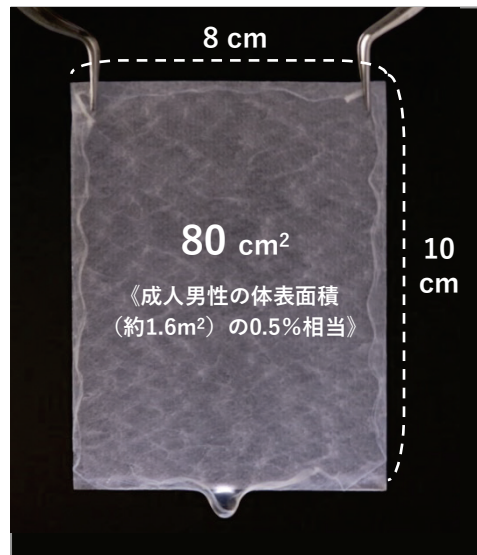
株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
2022年9月



みなさんは、もし病気になった時
自分の細胞で治療したいと思いませんか

当社が手がける事業は
患者さん自身の細胞を使った新たな医療です





適応対象 ① 重症熱傷

受傷面積として深達性Ⅱ度及びⅢ度熱傷創の合計面積が体表面積の30%以上の熱傷を適応対象。

② 先天性巨大色素性母斑

母斑面積が体表面積の5%以上の治療など、既存の標準的な治療では母斑の切除に対応しきれない場合に適用。

③ 栄養障害型表皮水疱症及び接合部型表皮水疱症

4週間程度持続しているびらん・潰瘍及び潰瘍化と再上皮化を繰り返すびらん・潰瘍に対して適用。

保険償還 価格

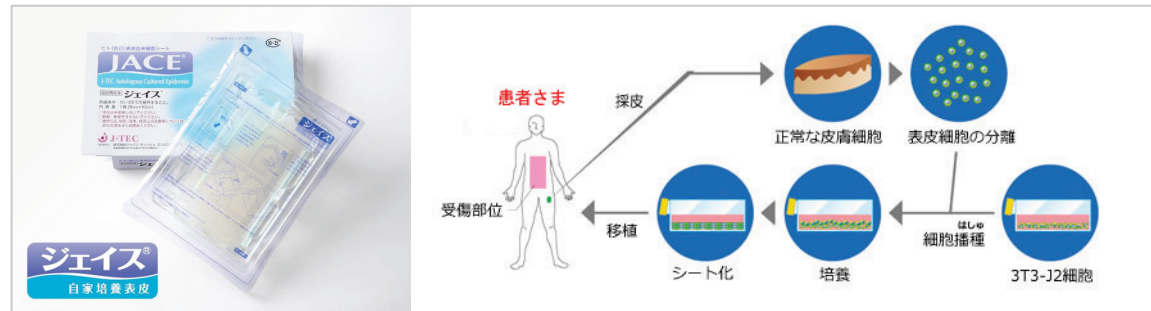
① 採取・培養キット：4,460千円

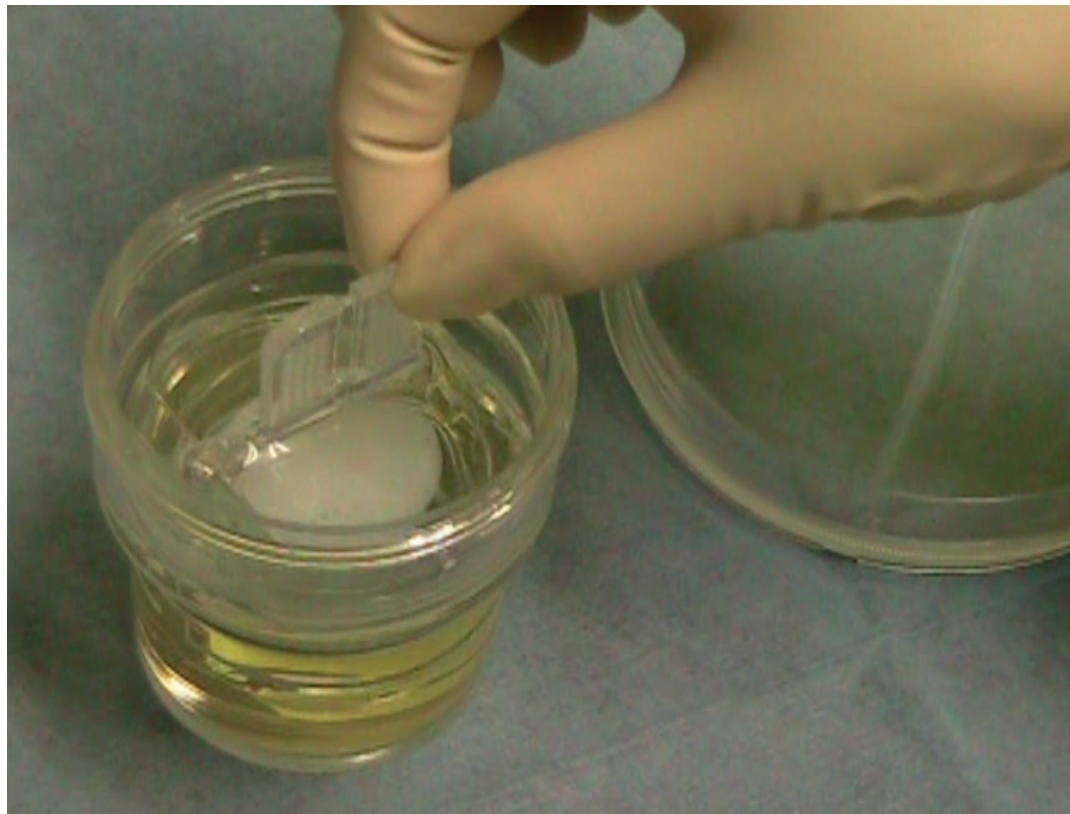
② 調製・移植キット：154千円 / 枚

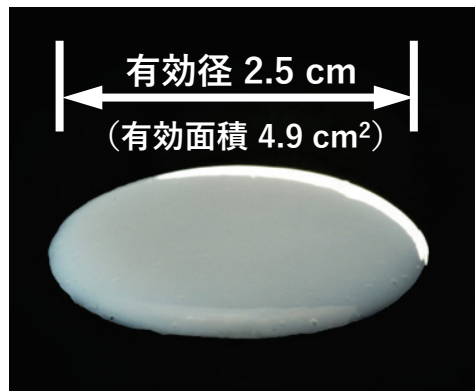
算定限度：40枚（熱傷）ただし、医学的に必要がある場合は、その理由を診療報酬明細書の摘要欄に記載した上で50枚を限度として算定できる。30枚（母斑）、50枚（表皮水疱症）

技術 導入元

米ハーバード大学 Howard Green 教授







適応対象

**膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎
(変形性膝関節症を除く)**

の臨床症状の緩和。ただし、他に治療法がなく、
かつ軟骨欠損面積が4cm²以上の軟骨欠損部位に適用する場合に限る。

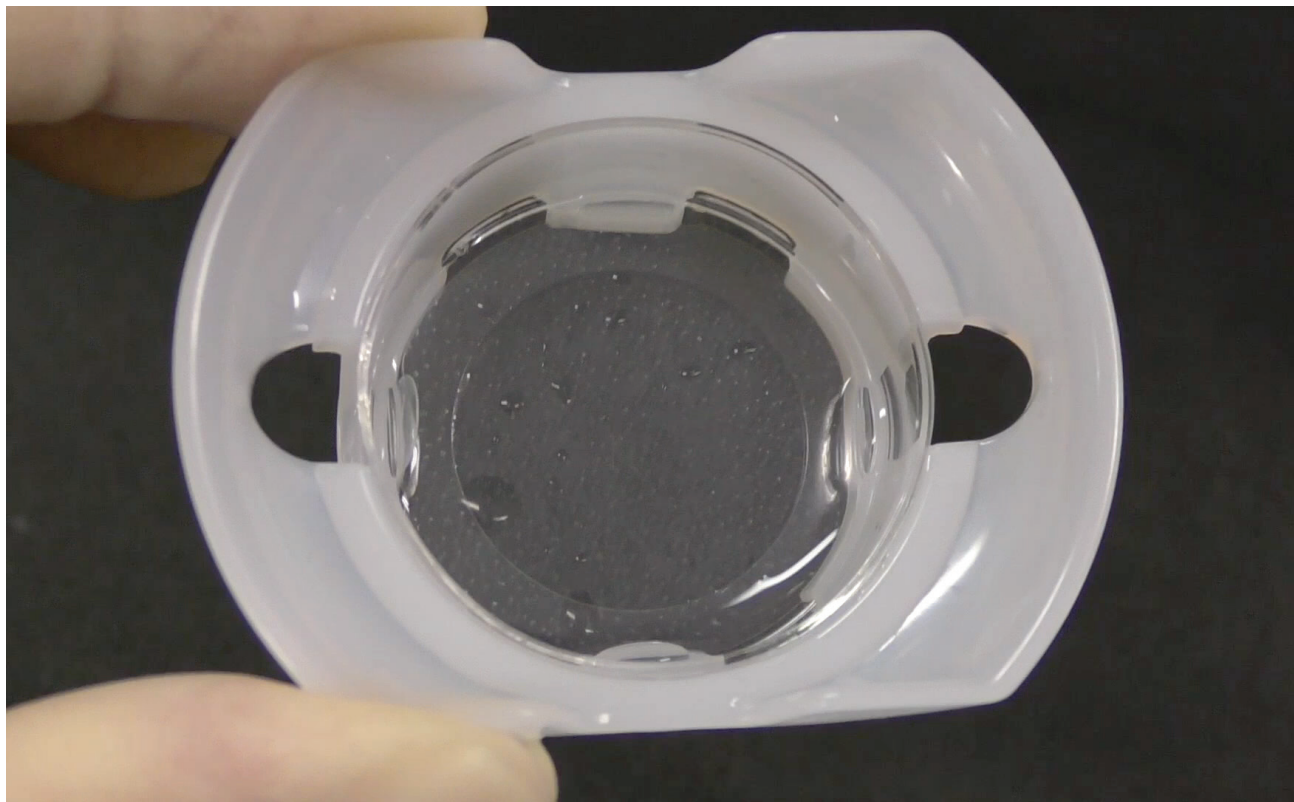
保険償還 価格

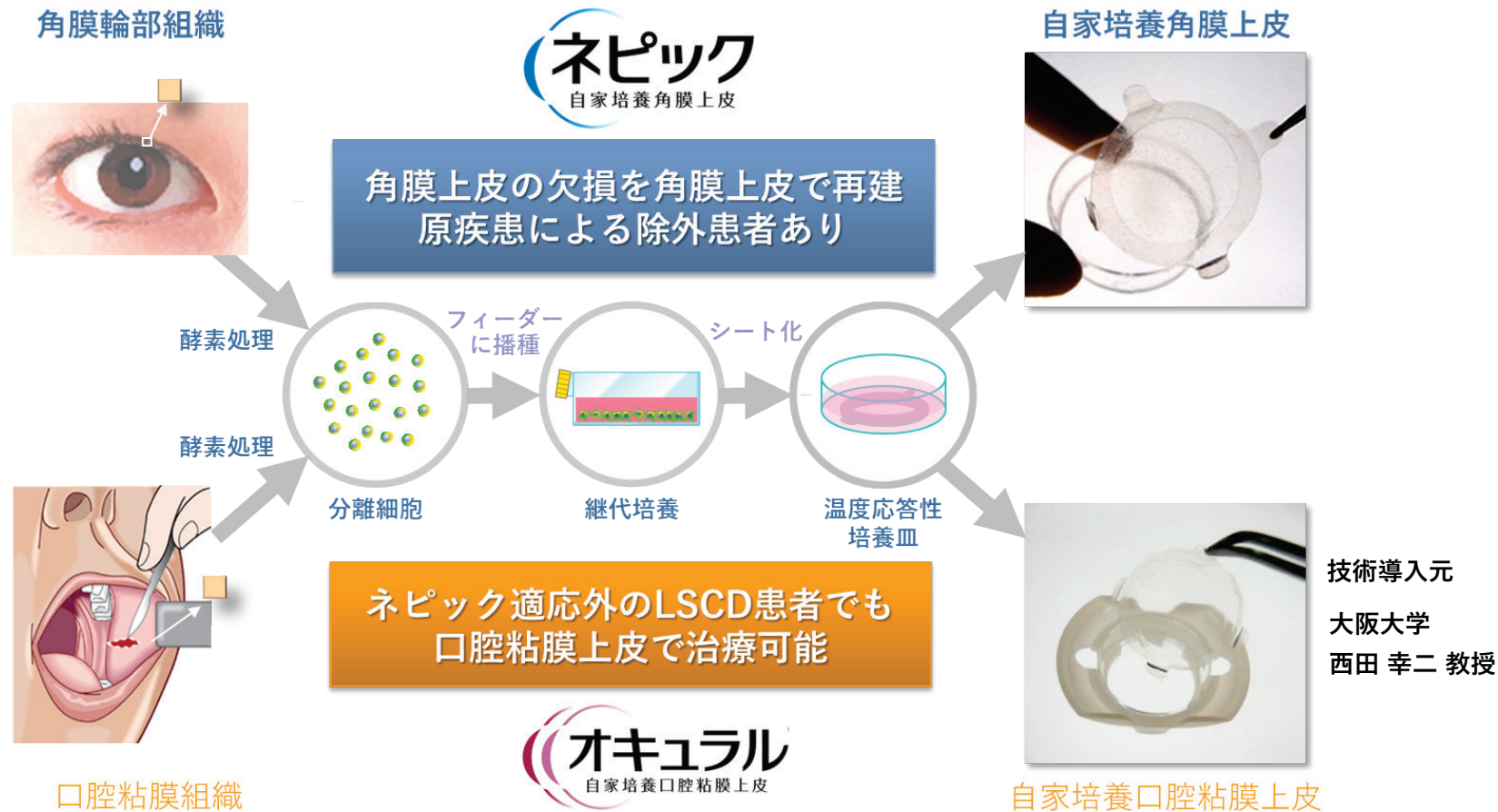
- ① 採取・培養キット： 895千円
- ② 調製・移植キット： 1,270千円 (使用した個数に係らない)

技術 導入元

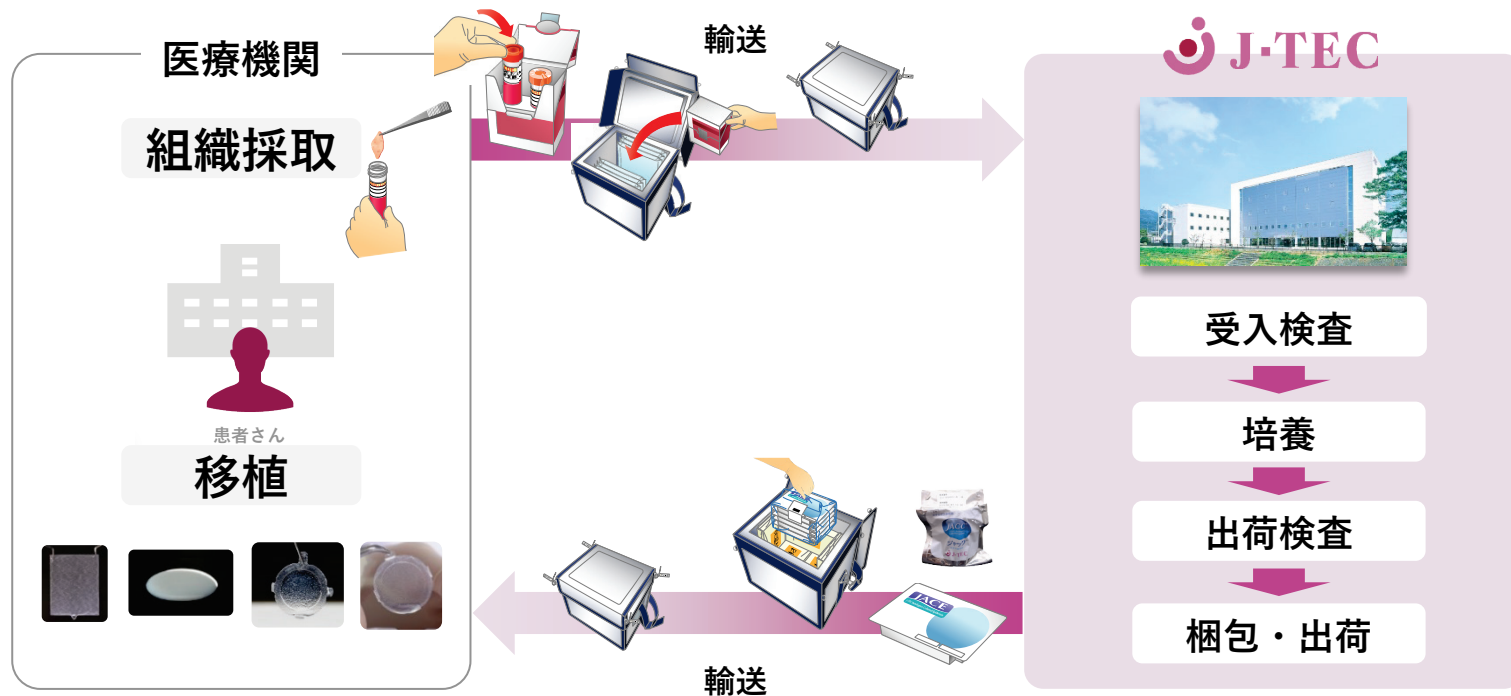
広島大学 越智 光夫 教授







究極のオーダーメイド製品



国内で承認された再生医療等製品 **16製品 18適応症** うち **4製品 6適応** が J-TECの再生医療等製品

国内で承認された再生医療等製品一覧

承認年	「販売名」	製造販売業者
2007年 ①	「ジェイス」	J-TEC
2012年 ②	「ジャック」	J-TEC
2015年	「テムセル HS 注」	JCRファーマ
2015年	「ハートシート」	テルモ
2018年	「ステミラック注」	ニプロ
2019年	「キムリア点滴静注」	バルティスファーマ
2019年	「コラテジェン筋注用 4mg」	アンジェス
2020年	「ゾルゲンスマ点滴静注」	バルティスファーマ
2020年 ③	「ネピック」	J-TEC

承認年	「販売名」	製造販売業者
2021年	「イエスカルタ点滴静注」	第一三共
2021年	「ブレヤンジ静注」	ブリストル・マイヤーズ スクイブ
2021年 ④	「オキュラル」	J-TEC
2021年	「デリタクト注」	第一三共
2021年	「アロフィセル注」	武田薬品工業
2022年	「サクラシー」	ひろさきLI
2022年	「アベクマ点滴静注」	ブリストル・マイヤーズ スクイブ

出典：「新再生医療等製品の承認品目一覧」

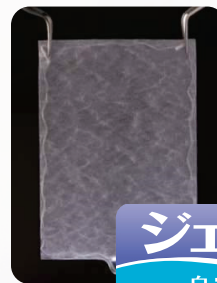
(PMDA) (<https://www.pmda.go.jp/review-services/drug-reviews/review-information/ctp/0004.html>) より加工して作成

POINT

13年にわたり2,000人を超える
患者さんへ再生医療を提供してきた
実績をもつ

2009年～

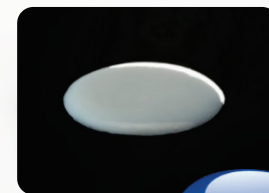
国内第1号の再生医療等製品



ジェイス®
自家培養表皮

2013年～

国内第2号の再生医療等製品



ジャック®
自家培養軟骨

2020年～

眼科領域で国内初の
再生医療等製品



ネピック®
自家培養角膜上皮

2021年～

世界初の口腔粘膜細胞を
使った角膜治療製品



オキュラル®
自家培養口腔粘膜上皮

POINT

研究開発から製造販売後対応までの バリューチェーンすべてを保有

再生医療等製品特有の難しさを克服。
その経験とそれを担った人材を確保しているのが当社の強み

POINT

リバーストランスレーショナルリサーチ のサイクルを確立

市販後の臨床実績を研究開発に還元し、
次製品の開発や適応拡大に生かす

研究開発

基礎研究から製品化研究まで自社一貫で実施

臨床開発・薬事開発

再生医療等製品ならではの開発手法を当局と共に
確立

品質保証・安全管理

市販後も求められる細胞製品の品質・安全性を
確実に担保

販売・マーケティング

医師と共に治療成績を高める手術手技を創出
自家の細胞製品を確実にお届けするロジスティクス構築

患者組織
受入

製造

製品供給

製造販売後
対応

POINT

コストダウンに留まらず 売上拡大の屋台骨となる

複数の製品を安定供給してきた実績により、
更なる製品ラインナップ増加にも確実に対応可能

再生医療製品のみならず受託事業にも幅広く
応えることで蓄積した技術やノウハウは、
売上拡大の強固な基盤を構築



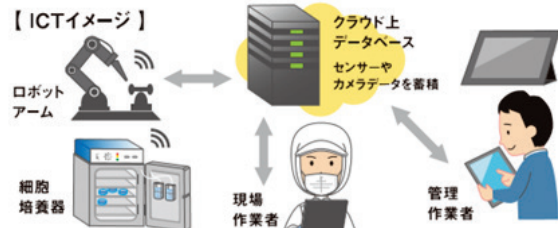
機械化・自動化による生産効率化

自家培養製品の生産において、高度なスキルを身につけた作業者が長時間従事しなければならない負荷の高い工程を対象として、コンパクトな自動・機械化装置や作業支援ツールを開発するなど、生産の効率化、安定を実現している。



自家細胞に最適化された販売生産システム

2,000症例を超える自家細胞製品の提供データを蓄積。
ICTを活用し製造作業者がより作業に集中できる環境を整える
最適な受注・生産体制の革新を目指し、システム開発中。



1

再生医療によるひざ治療
真の適応獲得へ

2

安定期の白斑治療
皮膚科領域へ

3

当社初
他人の細胞を使う製品

4

がん領域への挑戦

製品

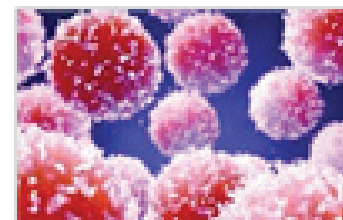
自家培養軟骨ジャック
変形性膝関節症
への適応拡大

メラノサイト含有
自家培養表皮
開発名：ACE02

他家（同種）培養表皮
開発名：Allo-JaCE03

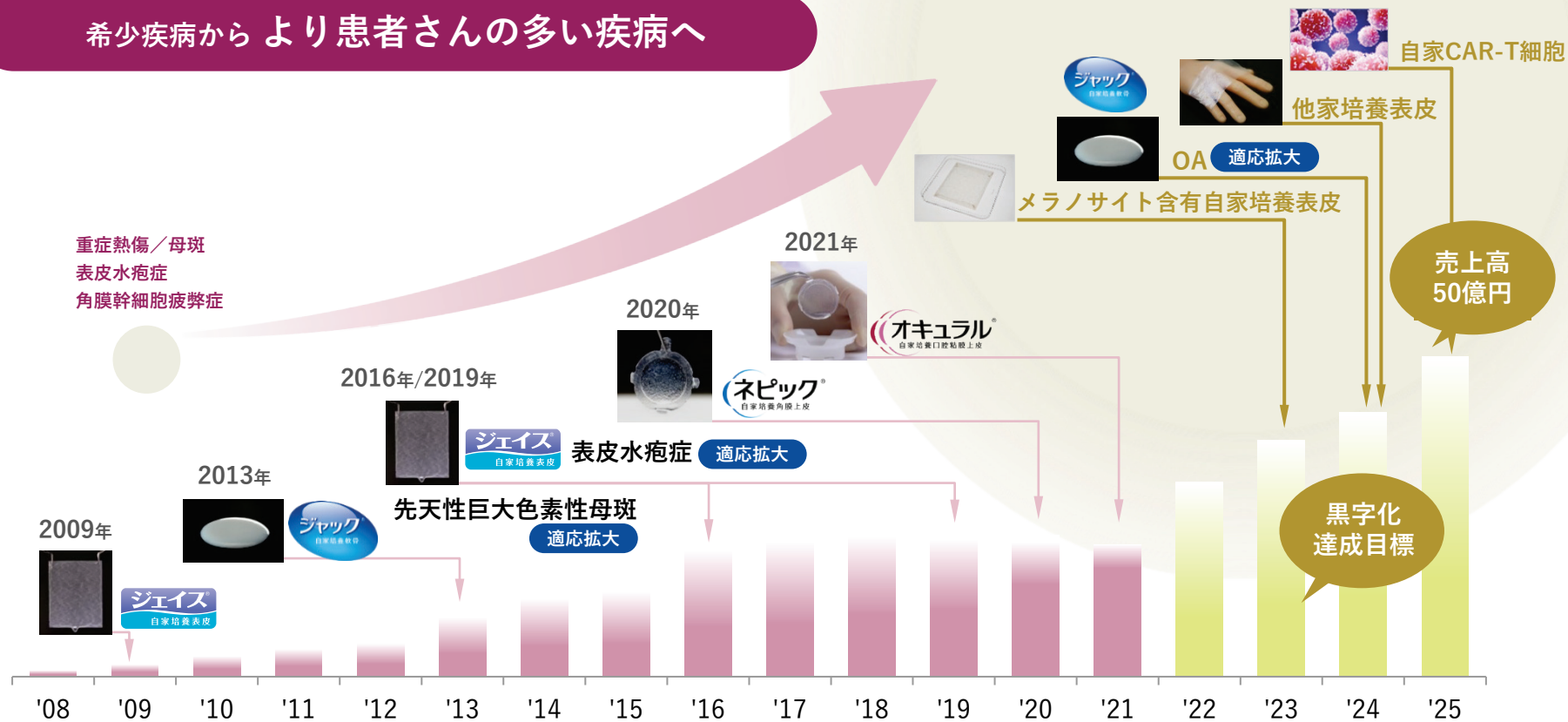
自家CAR-T細胞

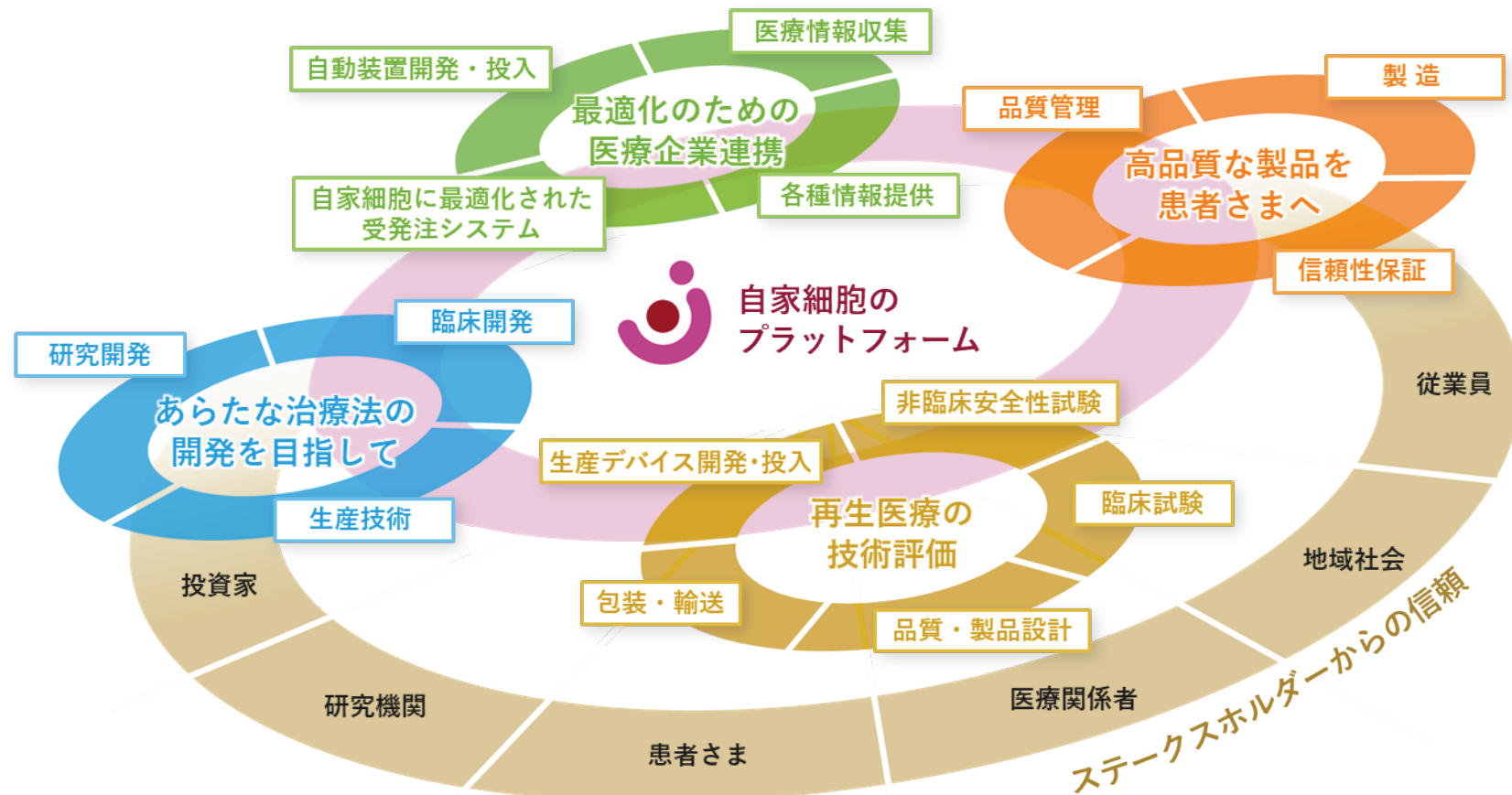
製品外観



希少疾病から より患者さんの多い疾病へ

白斑 変形性膝関節症 II度熱傷 がん





多くの仲間と共に実現する未来
新たな医療産業を創る





再生医療をあたりの医療に